

第三者評価結果概要版（通所介護【デイサービス】）



○基本情報

法人名	社会福祉法人光照園
事業所名	高齢者在宅サービスセンター王子光照苑
所在地	北区王子3丁目3番1号
連絡先	03-3927-9851

○事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）

●理念

- 1) 個人個人に合った適切なサービスと手厚い奉仕の精神
- 2) 職員の人としての豊かさ、専門性のあるサービス
- 3) 安定した経営
- 4) 地域、社会、環境への貢献
- 5) 品質マネジメントシステムの継続的改善

●居宅サービス部の支援目標

- ・やさしい笑顔であなたの暮らしを支えます

○全体の評価講評（特に良いと思う点）

【地域社会との連携および社会貢献に積極的に取り組んでいる】

当在宅サービスセンター王子光照苑は、区内で最も早い昭和63年に開設している。以来、「地域社会との連携及び社会貢献」を挙げ、広報活動を下地に、地域との連携に力を注いでいる。地元老人会が企画する近隣公園への外出には苑の車（運転付き）を提供している。近くの神社の例大祭には、町会からの要請に応え神輿の担ぎ手に男性職員が総出で協力している。区の新任職員の介護体験や地元中学の職場体験にも応じている。今年度設置された、地域連携ケア会議にも積極的に参画している。恒例の「光照苑祭」では住民の芸術作品を施設内に展示している。

【レクリエーション等で生活の幅を広げるためのメニューの充実に取り組んでいる】

利用者の生活の幅を広げることや心身のリフレッシュを勘案し、ボーリング、風船バレー、すごろく等のレクリエーション・ゲーム活動や七宝焼、生け花、皮細工、カラオケなどの趣味活動、またコンサート等行事を月間プログラムにバランス良く組み入れ実施している。また、外出プログラムを積極的に取り入れ、近隣でのお花見や希望を募ってのバスハイク（ばら見学や遊園地等）では6～7人のグループに分かれ約1カ月かけて実施するなどレクリエーション等の充実に取り組んでいる。

【重介護度者等を受け入れ、利用者を思いやったサービスを行っている】

障害高齢者の自立度ランクB以上40%強という利用者の状況がある。入浴は週2回が原則であるが、自宅での入浴介助が困難等の理由から2回以上対応している例がある。また、トイレ介助においても自然排泄に留意し、立位、座位が困難な利用者でもベッド上でのおむつ交換はしないよう介助を行っている。また、尿カテーテルの交換が家族で対応できないため、診療所への送迎をセンターで行っている。職員は厳しい介護環境にあるが、重度者の受け入れを積極的に行い、ご家族が安心して過ごせる場を目指している。

○全体の評価講評（さらなる改善が望まれる点）

【機能訓練加算の算定に向けた検討を期待したい】

介護保険制度の改正で大幅な介護報酬の減算を強いられるなか、社会福祉法人への公益社会貢献事業が義務化される動きがある。このため、平成27年度の事業計画では、今後事業所としての負担が大きくなるものと分析し、重点目標の一つに「適正な収入の確保、内部留保対策」を据えて取り組んでいる。一方、苑では機能訓練加算を算定できる職員数は満たしているが算定基準の体制が整っていないため加算の算定は取れていない。デイサービスの介護報酬が減算される状況を踏まえ、加算のとれる体制づくりに向けた検討を期待したい。

【事業安定に向けて利用率の向上に引き続きの努力を期待したい】

事業計画に今年度の重点目標を利用率90%とし、営業努力を積極的に行っていく方針が明記されている。今年度も、尿カテーテルの交換のため、診療所への送迎を行ったり、入浴サービス2回以上の希望の受け入れを行うなどの重度化対応に加え、食事サービス、外出等利用者援助の充実に努めている。こうした努力により、昨年度は、一昨年度を上回る利用実績88.2%を上げることが出来た。今後、さらに安定した事業運営に向け、介護支援事業所等関係諸機関との連携強化や重度者受け入れへの対応を進めるなど、利用率目標到達への努力を期待したい。

○事業者が特に力を入れている取り組み

【地域に開かれた施設づくりの一環として、積極的に情報提供に努めている】

地域に開かれた施設づくりの一環として、積極的に情報提供に努めている。利用者の活動の様子が手に取るように分かる豪華版のパンフレットやホームページの他、法人広報誌、デイサービスの広報誌も発行している。広報誌「ふれあい通信」は年4回700部発行し、区役所、居宅介護支援事業所、病院、銀行、信用金庫、図書館等の他、地域の4町会に配付している。9月号では、苑長だより、特集「食と暮らし」、高齢福祉かわら版「マイナンバー制度」、デイ納涼会の様子を写真と解説入りで紹介している。メッセージ性の高い地域と共に歩む様子が伺える。

【利用者の嗜好や状態を把握し、栄養面にも配慮した、おいしい食事の提供に努めている】

食事形態は、主食は粥・ミキサー、副食は刻み、極刻み、ミキサーである。利用者の状態に応じてハーフ食も提供している。また、利用者の嗜好に合わせた食事提供にも努めている。管理栄養士は、昼食時に利用者の食事の様子を見て回り、感想、要望を直接聞く機会を設け、より要望に沿った献立作りに生かしている。管理栄養士、調理員、介護職員等による毎月の食事サービス会議や隔月行う利用者との食事懇談会などを行い、利用者の嗜好と栄養に配慮した食事の提供に努めている。月1回の行事食やオーダーメニュー、月1度の選択食を実施している。

【地域資源を活用し利用者支援の充実を図っている】

パンフレットでは、「笑顔」が集い、「心」が通う、そんな「陽だまり」のような一日を提供させていただき、旨アピールしている。この実現に向けて、地域の資源も積極的に活用している。近隣のレストランや飲食店への外出行事や、初詣、近隣公園でのお花見、都電バラ園、皇居、近隣遊園地へのバスハイク等地域の様々なところへ希望を募りながら行っている。多くのボランティアによる活動や、地域の保育園児が定期的に来園し交流を図っている。一方、恒例の「光照苑祭」や当苑独自の「納涼会」には地域から多くの住民が参加し交流を深めている。

○利用者調査結果

有効回答者数	67人
利用者総数	80人

■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ ■ 無回答・非該当

1. 利用時の過ごし方は、個人のペースに合っているか	83.0%	8.0%	5.0%	いはい:1.0%
2. 食事の献立や食事介助は満足か	85.0%	7.0%	5.0%	いはい:1.0%
3. 利用者が必要と感じた介助が提供されているか	91.0%	どちらともいえない:4.0%	いはい:0.0%	無回答・非該当:4.0%
4. 利用中の楽しみな行事や活動があるか	70.0%	16.0%	10.0%	いはい:2.0%
5. 個別プランに基づいた事業所の活動リハビリは、家での生活に役立つか	74.0%	14.0%	7.0%	いはい:2.0%
6. 事業所内の清掃、整理整頓は行き届いているか	88.0%	5.0%	いはい:1.0%	無回答・非該当:4.0%
7. 職員の接遇・態度は適切か	92.0%	どちらともいえない:4.0%	いはい:0.0%	無回答・非該当:2.0%
8. 病氣やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	92.0%	5.0%	どちらともいえない:1.0%	いはい:0.0%
9. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	67.0%	10.0%	20.0%	いはい:1.0%
10. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	95.0%	どちらともいえない:1.0%	いはい:0.0%	無回答・非該当:2.0%
11. 利用者のプライバシーは守られているか	82.0%	5.0%	11.0%	いはい:0.0%
12. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	88.0%	7.0%	どちらともいえない:2.0%	いはい:1.0%
13. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	86.0%	5.0%	5.0%	いはい:1.0%
14. 利用者の不満や要望は対応されているか	83.0%	14.0%	どちらともいえない:1.0%	いはい:0.0%
15. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	50.0%	10.0%	13.0%	25.0%